



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 山 本 英 樹
幹 事 三 宅 善 太 郎 会 報 委 員 長 奥 田 秀 行



ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017-2018年度国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2336

2017-8-25

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL. (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会) 8月25日(第4例会)

- 卓話 「孔子の説く友人」
友人には良い友人と悪い友人があるので、選んで付き合はねばならない。
西村五郎会員

次週のお知らせ) 9月1日(第1例会)

- 新会員入会式
金山信利氏 (僧侶)
- 表彰・ホームクラブ連続皆出席
- お祝・誕生日 結婚記念日 会社創立記念日
入会記念日
- 卓話 「公共イメージ向上セミナーに参加して」
岩永建保雑誌・広報委員長
- 理事会 11:30 ~ 12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ
- 食膳 <フランス 肉料理>

次々週のお知らせ) 9月8日(第2例会)

- 卓話 「私の日本のライフスタイル」
(My Japanese lifestyle)
米山奨学生 テチアナ・セゾネンコ様

先週の記事) 8月18日(第3例会)

- 出席報告
出席会員 39名 (内免除会員 10名)
会員総数 47名 (同上 16名)
ゲスト 1名
ビジター 0名
計 40名
ホームクラブ出席率 95.12%
7月28日(第4例会) 補正出席率 100% (MU2名)
- ゲスト&ビジター (敬称略)
テチアナ・セゾネンコ (米山奨学生)

◆会長の時間◆

ガバナー月信8月号に、2019年4月にシカゴで開催される立法案の提出の案内が載っておりました。規定審議会は、3年に一度開催され、ロータリーの組織規定に変更を加える制定案と、RI理事会の見解を表明する見解表明案について審議と投票が行われます。次回の規定審議会は、2019年4月の開催が予定されています。それぞれの審議会に制定案を提出できるのは、クラブ、地区、RI理事会、RIBI審議会または大会です。各クラブから立法案を提出しようとする場合は、9月末までに地区へ提出、その後、地区大会で承認を得る必要があります。

◆3分間情報◆



光信昌明会員

最近、世界中の奉仕クラブは大きな危機を迎えています。組織として存続するためのサバイバルを賭けていると言っても過言ではありません。日本のロータリークラブもその例にもれず、衰退の一途を辿っており、実は2000年からこの10年間で50のクラブが消失しています。

何故このような衰退が起こっているのかを謙虚に反省して、それを阻止するためには、ロータリー運動が飛躍的に発展した創立当初の奉仕理念の原点を探って、その原点に回帰しようとする努力が必要ではないでしょうか。

ロータリーのメリットが物質的なものだけではないことは、当初は事業の発展を会員同士の物質的相互扶助によって図っていたものが、アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した奉仕理念に転換したことで、その後のロータリーが大きな発展を遂げたことから明らかです。

シェルドンの奉仕理念は経営学に基づいた職業奉仕理念そのものであって、そこには社会奉仕の考えは含まれていませんでした。社会奉仕の考えが生まれたのは1927年以降のことですから、原点復帰とは即ちそれ以前の職業奉仕理念に戻って考えることを意味します。

即ち現在、奉仕活動の主流となっている社会奉仕活動は、ロータリー本来の活動とは別のものであって、現在および将来のロータリー活動に必要な不可欠なものとして本来の職業奉仕活動に付け加えられたもの

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

と考えるべきでしょう。そのように割り切って考えずに、ロータリーをボランティア活動するNPOだと考えるところに、ロータリーに対する不満の原因が起るようになると思えてなりません。

私はボランティア活動にうつつを抜かす現在のRIの姿は、思考停止に陥っているロータリーの中核部の一過性の行動であって、近い将来には本来のロータリーの姿に戻るものであることを確信しています。物質的相互扶助による工業の発展から、見事に職業奉仕実践による事業の発展に転換した先達の例があるからです。

◆ 幹事報告 ◆

先日ご案内致しました、金山信利様の入会について異議がございませんでした。入会式を9月1日に行います。

地区大会の登録申込書をポストしております。ご出席よろしくお願ひ致します。

◆ 委員会報告 ◆

「ロータリーの友」8月号紹介

雑誌・広報委員長 岩永建保

【横組記事より】

P3 RI会長のメッセージ。各クラブは、「人道的奉仕のために費やした現金・現物寄贈の金額とロータリーの名のもとに行った活動に費やした時間を、インターネットのロータリークラブ・セントラルを通じて、本部に報告して欲しい」との要請。

P7 会員増強・新クラブ結成「これまでの殻を破る」の記事。

大宮西RCは、ロータリー活動の両輪である親睦と奉仕に、事業上の利益増大を加えて、いわば3本の矢でロータリーの魅力を訴えて会員増強を図ったとのこと。

【縦組記事より】

P4 地域は本当に元気になれるのかという小論文。日本の人口が、急速に減少し、2040年には、日本の市町村の半数が消滅可能性都市となるとのことで、高齢者が移住できるような田舎づくりを目指そうとの提言。

卓話

8月18日 <第3例会>

「Whiskyの世界」



西谷雅之会員

Whiskyの歴史は非常に古く、魅惑の琥珀色や香りは密造酒時代の偶然の産物であった。このスコットランドの地酒に過ぎなかった液体を世界中で親しまれるお酒に変えたのはBlended Whiskyが発明されたからである。癖が強く

その地方地方でしか飲まれなかったMalt Whiskyが連続蒸留器の発明により安価な穀物を使い大量に造

られ、また連続で蒸留することで軽い優しい味わいのGrain Whiskyと出会い、ブレンドされることにより多くの人々に愛されるScotch Whiskyが誕生したのである。

このScotch Whiskyが世界中に広まった要因は1860年代フランスに端を発したヨーロッパ葡萄の壊滅的被害によりワインやブランデーの生産が困難になった為とよく言われるが、私は英国の産業革命のおかげであると考え。蒸気機関の発明はより多くのものを速く遠くに運ぶことを可能にした。ガラス容器が大量生産され始めたのもこの頃である。

一般的な話はこれ位にして、私が大好きなMalt Whiskyの話をして。上述した様にこれはスコットランド地方のただの地酒である。実際1990年代に販売されたWhiskyの95%はBlended Whiskyである。2000年代に入り15%程に増えたMalt Whiskyの販売量であるが、Malt Whiskyを楽しむ行為はまだまだ歴史が浅いと言って良いだろう。

その魅力は樽で熟成すること、瓶詰業者の存在というMalt Whisky独特の販売形態にある。どんな材質の樽で何年寝かせるか(と言って30年寝かせれば30年物になるわけでは無い)、飲み頃を判断するブレNDERの存在、そしてずっと安定的に同じ味のものを作り供給する義務も意識もない、どちらかと言えば一期一会的なWhiskyを供給してきた瓶詰業者。

と色々話は尽きないが、とにかく百聞は何とやら。実際に呑んで感じることにこの魅力を語れるものは無いのである。

Slainte mhor!

にこにこ箱

8月18日(第3例会)

- お盆が終わり私の一年のメが終わりました。年々つかれて来ました。
岡部(泰)会員
- 毎度、奥田さん、浅井さん、三宅さん、有難うございました。
村上(武)会員
- 7/28~8/6でコンベンションに参加するため、ラスベガス(フーバーダム)、セドナ、ニューポートビーチに行って参りました。不在中、ご不便をおかけし申し訳ございませんでした。本日から例会を復帰いたします。宜しくお願ひ申し上げます。
山本(智)会員
- 楽しい宴のお裾分けです。
たまにはイタメシ一同
- 鳥居さん、先日はお世話になりありがとうございました。
武田会員
- その他、早退お詫び 1件

(編集担当 浅井・宮田)

会員増強にご協力を!!